

一般社団法人日本解剖学会 2024(令和6)年度第2回常務理事会議事録

日 時：2024(令和6)年3月20日(水・祝) 12:00～13:50

場 所：沖縄県市町村自治会館（2F 中会議室）

出席者：寺田 純雄（理事長）、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一、（以上、常務理事）、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 理事長 挨拶

II. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

2024(令和6)年度第1回常務理事会（2024(令和6)年2月3日開催）記録（案）

III. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

・令和 6年 1月分

入会者:正会員 10名、学生 14名

退会者:正会員 5名

・令和 6年 2月分

入会者:正会員 8名、学生 5名

退会者:正会員 4名、名誉会員 1名、団体会員 1名、

・逝去会員

高橋 暁 氏(福井大・元教授/名誉会員)令和6年2月19日逝去(満92歳)

・解剖学教育専任教授新規就任者

寺井 健太 氏(徳島大・医・顕微解剖学・教授)令和5年12月1日就任

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

・日本医学会より「第34回日本医学会公開フォーラム「女性医療を取り巻く課題」の日本医学会ホームページ公開のお知らせ」他41件

・書籍・定期通信 他:厚生労働省より「医薬品・医療機器等安全情報 No.407」寄贈 他1件

(3) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、3年間未納者(31名)について報告された。3年未納者については、できるだけ会費納入の声かけを行うこととなった。

(4) 第129回全国学術集会期間中におけるスケジュール確認

資料に基づき、3月21日から開催される学術集会日程と各種委員会開催日程が確認された。2日目にはKAAとの相互交流についての調印式も予定されていることが確認された。

(5) 倫理/利益相反委員会報告

資料に基づき、倫理審査等に関するアンケートのまとめを作成中であること、さらに、解剖学雑誌の誌上でアンケート結果を発表することが報告された。

(6) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌99巻1号とASI 99巻2号が3月末に発送予定であること、2024年6月にASI 99巻3号が発行予定であることが報告された。

- (2) 2025年以降のASI出版契約について
資料に基づき、ASI出版に関する契約についてSpringer Nature Singapore社から2025年以降の提案内容について報告され、理事会の承認の後に締結予定であることが確認された。
- (3) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 二級認定技術者審査結果について
資料に基づき、二級解剖・細胞組織技術者 1 名の資格審査合格の判定結果が報告された。
- (2) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、プログラム委員の構成など、準備状況について報告された。
- (3) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、分科会用語委員会（1/15・若山友彦先生ご出席）、第12回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第12回シンポジウム「AIと医学雑誌編集」（2/5・福田常務理事ご出席）、第91回日本医学会定例評議員会/連合2023年度臨時総会（2/21・尾崎常務理事ご出席）と岡部繁男理事の日本医師会賞受賞、連合10周年記念式典（3/1・大和田常務理事ご出席）に関する報告があった。また、第3回基礎部会Rising Starリトリートへの2名の推薦が報告された。また、日本薬理学会を幹事とした領域横断的連携活動事業（TEAM事業）「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究の推進」の申請と活動に、日本生理学会とともに協力していく方針が報告された。
- (4) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、第28回運営会議（12/19）について報告された。大学への運営交付金の減額、円安、物価高騰等を受けた科学研究費の増額の要望への署名の依頼に関し、内容を今後さらに検討する方針であることが報告された。また、NPO法人動物実験関係者連絡協議会からの動物実験の機関管理の外部検証に係る国全体の統一的制度の整備に関する要望書の提出について、生物科学学会連合から賛同依頼があったことが報告された。
- (5) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、連携法人会員の入会承認に関するメール審議について報告された。
- (6) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA）
資料に基づき、KAAからのIFAA開催に係るJAAメンバーへの周知および連携シンポジウム提案を通じた協力要請があり、対応したことが報告された。また、JAA-KAA国際交流協定の申し合わせが締結予定であることが報告された。APICAの次回開催予定地が間もなく決定されること、またIFAAは2026年にオーストラリアで、また2029年にスペイン、チリ、インドのいずれかで開催予定であることが報告された。
- (7) 日本外科学会CST推進委員会報告
資料に基づき、1月15日に行われた令和5年度第3回CST推進委員会・厚生労働班会議合同企画、2月26日に開催された令和6年度第1回CST推進委員会、一般社団法人CST（仮称）の打ち合わせ（3月23日開催予定）、および第124回日本外科学会定期学術集会におけるシンポジウム「CSTの新展開：法人化に向けて」（4月20日開催予定）の内容について、報告された。また、今後CST事業の法人化が予定されており、日本解剖学会はコアの団体として参加予定であることが報告された。
- (8) 学術委員会アンケートについて
資料に基づき、例年に倣い、第129回日本解剖学会総会・全国学術集会においても参加者を対象にアンケー

トを実施することが報告された。

- (9) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 2024(令和6)年度中間決算書について
資料に基づき、全国学術集会の沖縄開催および対面会議の増加に伴う旅費交通費の増加などを含め、中間決算書の報告があった。
- (2) 賞・研究費候補者選考委員会報告、次期賞・研究費候補者選考委員会の構成と奨励賞募集概要について
12月21日に開催された奨励賞選考委員会の経過と結果が報告された。
- (3) その他
特になし。

5. 理事長報告

- (1) 徳島大学照会「他学部所属学生の系統解剖実習参加の可否」について
資料に基づき、富田江一氏（徳島大学医学部機能解剖学分野・教授）から、医学部・歯学部以外の学生の剖出を伴う解剖実習実施の可否について解剖学会に問い合わせがあった。常務理事会において議論した結果、現時点では医学部・歯学部以外の学生が実習に参加する場合は見学に留めるべきとの結論に至り、その旨を返答したことが報告された。
- (2) その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、令和5年9月1日から11月30日までに入会申請のあった一般会員18名、学生会員19名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について

資料に基づき、以下の1名の教授就任に伴う代議員申請が審議の結果、了承された。

寺井 健太 氏（徳島大学 医歯薬学研究部 顕微解剖学分野、2023年12月1日就任）

3. 2023(令和5)年度決算および業務監査報告の件

資料に基づき説明があり、理事会での審議を行うことが了承された。また、監事（八木沼洋行氏、渡辺雅彦氏）および独立監査人（公認会計士）による監査報告書の内容が報告された。監事から、学会の保有する資産の会員への還元やインボイス制度に関する継続的な情報収集に関して提言があったことも報告された。

4. 2024(令和6)年度予算および事業計画の件

資料に基づいて説明があり、理事会での審議を行うことが了承された。

5. 2024(令和6)年度定時社員総会資料と議長の確認

資料に基づき、議長選出からの総会の流れおよび内容について説明があり、理事会での審議を行うことが了承された。

6. 第12回アジアパシフィック国際解剖学会議（12nd APICA）招致について

資料に基づき、2027年の全国学術集会との併催について検討中であることが説明され、理事会での審議を行うことが了承された。

7. その他

特別事業積立金からの解剖セミナー参加旅費支援について議論がなされ、今後も継続していくことが確認された。